

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

特集

京田辺校地
開校20周年記念第2弾

広がる地域と
大学のつながり

●同志社人訪問

フォルクスワーゲン東京株式会社代表取締役社長、
アウディ東京代表

染井徹也さん
に聞く

●新島襄の旅した風景(最終回)

熊本編



CONTENTS 2006 DECEMBER No. 149

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。
さいなことでも結構ですので、としし広報課までご意見・情報をお寄せください。

大学の活動



特集

京田辺校地開校20周年記念 第2弾

広がる地域と大学のつながり ----- 2

来年度就職をめざす皆さんへ ----- 11

CAMPUS NEWS ----- 16

第1回新司法試験に35名が合格／京都中央信用金庫主催の学生ベンチャーコンテストで最優秀賞受賞／本学卒業生の藤野可織さんが文学界新人賞を受賞／同志社大学・女子大学京田辺校地開校20周年記念式／学研都市キャンパス開校式・快風館開館式と良心碑除幕式／ホームカミングデー2006―精神に帰る一日―／大学院アメリカ研究科 ハロウィーンパーティー開催／京都学生祭典で本学学生が活躍／2006年度旧司法試験最終合格者数上位大学ランキング／卒業生の新刊図書／本学教員の執筆図書／Present For You／他

在学生・教員の活躍

新島裏の旅した風景(最終回) 熊本編 ----- 7

留学生の眼 ----- 13

・「実社会に即した教育」を体感 ～フィンランド・ヘルシンキ大学～
岩崎 歩美さん(文学部社会学科社会学専攻4年次生)

・多くの人と関わり、視野を広げたくて ～サマープログラム イギリス・ヨーク大学～
岡本 識さん(経済学部2年次生)

OP COMMENTARY ----- 15

「教育改革ブームに思う」 ビジネス研究科教授 浜 矩子

MY PURPOSE ----- 27

第58回日米学生会議の実行委員を務める ～活動を通して将来が見えてきた～
山田 裕一朗さん(経済学部4年次生)

卒業生の活躍



INTERVIEW ～同志社人訪問～ ----- 20

フォルクスワーゲン東京株式会社代表取締役社長、アウディ東京代表
染井 徹也さんに聞く

MY JOB, MY LIFE ～シリーズ 私と「仕事」～ ----- 23

・安藤 武博さん(1998年経済学部卒業)

・水野 和佳さん(1999年文学部英文学科卒業)

ANNOUNCEMENT ----- 25



表紙の情景 [同志社京田辺祭2006]

11月4日(土)・5日(日)、「同志社京田辺祭2006(愛称:ADAM祭～遊ぼうでっかく、遊ぼうみんな～)」が開催され、約2万人が京田辺校地を訪れた。

同志社京田辺祭は、学生・教職員・市民が一体となって共に楽しみ、ふれあい、交流する場を創出し、大学と地域が連携した新しいコミュニティの形成をめざしている。

祭では、学生・一般市民による模擬店(31店舗)、フリーマーケット(14ブース)、教室企画(10企画)、ステージ(公募20団体)をはじめ、音楽ライブ、お笑いライブ、スポーツフェスティバルなど様々な企画が行われた。学生だけでなく多くの市民の参加があり、キャンパスはおおきに賑わった。

広がる地域と

大学のつながり

～学生の地域連携活動を通して～

11月4・5日、京田辺校地にて
「同志社京田辺祭2006」が開催された。
今年で2回目となるこのイベントは、
本学と京田辺市民の交流の場を創出し、
地域連携の新しいコミュニティ形成をめざしている。
また、開校20周年を迎えた京田辺校地では、
学生が地域と連携してさまざまな活動を行っている。
今回はそんな学生たちの取り組みを通して、
京田辺市との間に生まれている
地域連携の芽をレポートしよう。

地域と大学の コーディネーター

きゅうたなべ倶楽部

—市民と大学の「出会いの場」を提供する—



「たとえば京田辺に住む人が、大学と一緒にこんなことをしたいと思っても、どうすればいいのかわからない。そんな時に『出会いの場』を作るのが僕たちの役割です」。代表の杉岡秀紀さん(総合政策科学研究科博士課程(前期課程)2年次生)は、きゅうたなべ倶楽部を「地域と大学を繋ぐ中間支援組織」と位置づけている。

発足の遠因となったのは、2000年、京田辺市役所でのインターンシップに参加したことだった。当時経済学部生だった杉岡さんは、ゼミで地域における環境問題を研究していた。また、ゼミのメンバーとともに、京田辺市で地域通貨※を導入する試みに取り組んだ。「地域通貨は試験流通まで漕ぎ着けましたが、就職活動などで一人また一人と活動から遠ざかっていきました。メンバーも卒業していきま

すから、やはり学生だけで継続的に活動していくことに限界を感じました」と言う。そして、京田辺市民との良い出会いにも恵まれ、協力を得た杉岡さんは、03年4月にNPO「きゅうたなべ倶楽部」を立ち上げた。



普賢寺での寺子屋の様子。
地元の小学生が参加。

その後の活動は精力的なものだった。京田辺の同志社大生へ向けたクイポン付きフリーペーパーの発行、地元の商店街と共催する地域活性化イベント「かぐや姫と竹フェスタ」、不要になった家具や家電を再利用するキャンパスリユースの開催な



春に開催された「かぐや姫と竹フェスタ」の一場面。

ど他の団体と協力しながらさまざまな活動に取り組み、ネットワークを広げてきた。さらに05年1月、本学と京田辺市の間で連携協力に関する

包括協定が結ばれたことにより、これまでの地道な活動が大きく前進したと言える。

「とにかくいろいろなことを仕掛けて、大学と街とを近づけたい」という杉岡さ

ん。「結びつきが完全なものになったら、NPOは発展的解散を遂げるかもしれない。それくらい大学と地域の交流が発展していくことを願っています」と話す。自ら同志社京田辺祭の実行委員長を務め、きゅうたなべ倶楽部は祭に大きく貢献した。その勢いはまだまだ留まる気配を見せない。

※地域通貨：地域の人たちがお互いに助け合うサービス行為に対し、独自の通貨に置き換えてサービスやモノを循環させていくシステムのこと。地域の生活や福祉をサポートし、地域経済の活性化にもつながると考えられている。



杉岡秀紀さん

総合政策科学研究科博士課程
(前期課程)2年次生



きゅうたなべ倶楽部発行の
フリーペーパー「たなべ デ・ビュー」

耕して考える エコロジスト

e-cycle

—畑での実践から地域の環境を考える—



昨年の春に誕生したe-cycleの主義は単純明快である。「まずは自分たちでやってみる」ということだ。

きっかけは工学部環境システム学科の学生たちの好奇心だった。「大学内の研究だけでなく実際に何かを作ってみたい。また環境問題に対して何か自分たちができることはないか」という思いを実行していった。同学科の光田重幸助教授の紹介を経て、まずはJR同志社駅前からほど近い普賢寺川沿いの休耕田を借り、そこでの農作業からe-cycleの活動はスタートした。さつまいも、スイカイチゴなど、

光田助教授に教わりながら有機農法で作物を育ててきた。昨年11月の第1回同志社京田辺祭では収穫したさつまいもをスイートポテトにして販売。地域で採れた安全な食べ物を、そこに住む人々に還元した形だ。

その最高品質の玉露が作られる背景には、大量の肥料と農薬を与えて土壌や水質を汚染している現状がある。その点に問題意識を持ち、環境にやさしいお茶を作ることではできないかと、地元の協力を得て始めた取り組みだ。また、お茶の活動を通して

に体験してみる」という信念が基盤にある。「今はまだとりあえず作ってみる」という段階。しかし、僕たちの活動を通して、農業など現在の生活で関係が希薄になっているものに興味を持つてほしいという思いがあります。農作物をうまく生産できるようになれば、生協に納入して販売するというのも一つの目標。今後の活動をどのように発展させていくか、考案中です」と代表の中村祐希さん（工学部環境システム学科2年次生）。



竹炭を窯から取り出したところ。

また市民団体の協力ののもと、茶畑を借りてお茶作りにも挑戦している。京田辺は玉露の産地である。しかし、

伝統技術である「茶もみ」を体験するという貴重な機会にも恵まれた。玉露作りは肥料を大量に与えるため、極端な酸性土壌になるという。土壌汚染を防ぐために、竹炭が土壌改良剤としてどれくらいの効果があるのかも調査中だ。市民団体「山城里山の会」とともに、竹林から竹を切り出して竹炭を作るプランを進めている。机上の研究もさることながら、やはり「実際



同志社京田辺祭では、6箇所でリユース食器の回収。



同志社京田辺祭でスイートポテトを販売。



中村祐希さん
工学部環境システム学科
2年次生

今年の同志社京田辺祭では、前年と同じく栽培したさつまいもをスイートポテトにして販売した。また、中村さんは同志社京田辺祭の実行委員会環境班のリーダーも務めた。模擬店での紙皿、紙コップの使い捨てをやめ、洗浄して再使用が可能なリユース食器を全店舗に導入した。「環境」をキーワードとした地域との連携は着実に深まっている。

「京田辺土産」の 生みの親

TAP (Total Association Projectors)

—地元企業とともに京田辺のブランドを広める—



今年4月、TAPは京田辺市の製茶販売企業「舞妓の茶本舗」とともに、抹茶味の金平糖を開発した。その名も「たなべいとう」。本学学生をターゲットとした限定パッケージを考案し、現在京田辺キャンパスの生協で販売している。

「文系学生は、3年次生になれば京田辺を離れ、京都市内にある今出川校地に行ってしまう。どうしても京田辺のイメージは希薄になってしまいがちになる。少しでも印象が残るように何かを企画したい」と日頃から思っていました」と、現代表の柴奥圭太さん（社会学部産業関係学科2年次生）。

TAPが手がけたのは、主に商品のネーミングとパッケージデザインである。まずはサークル内で学生同士でのミーティングを重ね、その成果を企業へ提案する。サークル活動とは言っても商品の売れ行きを左右する重要な部分。企業とのやり取りも十数回、約半年間に及ぶ共同開発作業となった。最終的にパッケージは京田辺市の名産である竹をモチーフに、ネーミングは「田辺の金平糖」に引掛

けた。「勢いで考えた部分も多かったですが、企業の方にも気に入って頂けて満足です」と柴奥さんは振り返っている。

さらに昨年の11月には、京田辺市の消臭抗菌剤メーカー「カートンサービスオクダ」

イトしたもの。京田辺市に伝説が残るかぐや姫をヒントに、商品名や和歌を組み込んだデザインを提案した。紫と緑を基調にした2種類のパッケージは、ともに和風で美しいデザインだ。

「かぐや姫化粧石鹸」と「かぐや姫お茶化粧石鹸」。肌に優しく、早くもファンを獲得している。京田辺校地生協購買部、アル・プラザ京田辺でも販売中。1個（90グラム）1,800円

京田辺校地の生協購買部にて販売。30グラム入りは1袋250円。竹筒風の3袋入り900円は「帰省のお土産に」。

TAPの発足はわずか3年前。インターンシップで先の舞妓の茶本舗へ行った学生が、玉露飴を共同開発したのがきっかけだ。「企業との連携のほか、キャンパスリソースにも参加するなど、活動の幅をどんどん広げているところです。その中でもやはり商品開発は、学内外を問わず多くの人に自分たちの活動の成果をアピールできるのでとてもやりがいがあります。これから地元企業とともに、京田辺の「ブランド」を高めていくことが僕たちの目標です」と柴奥さんは語ってくれた。



柴奥圭太さん

社会学部産業関係学科2年次生

総括

学生の自主性が 生んだ地域と 大学のつながり

平成17年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に「けいはんな知的特区活性化デザイン」の提案・環境・都市再生の教育プログラムによる学生参加の「街づくり」が採択されました。

これまで本学では、自由主義の理念に則り、サークルやNPOなど学生独自の活動については、大学として網羅的に把握する機関を設けていませんでした。しかし、地域社会と連携した学生活動を調査したところ、驚くほど多くの分野で本学の学生が活躍していることが分かりました。つまり、地域連携に向けてのポテ

して練り上げ、キャンパス内で試験運用したり、大学が起業を支援したりといったことも視野に入れています。

課外活動については、当然ながら学生の自由を尊重しています。それらがよりスムーズに活動できるよう、大学に対して要望があれば学生から積極的に働きかけて欲しいと考えています。学生の活躍としては、先日行われた同志社京田辺祭が顕著な例ではないでしょうか。昨年度は教職員の主導によって行われ、学生のニーズを充分に汲み取れていない部分もありました。ですから、今年度はあくまで学生を中心に実行委員会を組織し、大学が市民との交流をバックアップするような態勢を取りました。その結果、2日間で2万人の参加という成功を収めることができました。

大学には地域社会との連携を図っていく責任があると考えています。今年で京田辺校地は開校20年を迎えましたが、キャンパスが街の中心部と離れているという地理的な問題もあり、今までキャンパスと京田辺市の間に十全な関係が築けているとは言いがたい部分がありました。が、現在、キャンパスと京田辺市内を繋ぐ循環バスの運行なども検討しています。大学として学生の主体的な取り組みを支援していくとともに、けいはんな地区連携の基盤づくりを今後も進めていきたいと考えています。



片山 傳生
副学長・工学部教授

文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「けいはんな知的特区活性化デザイン」の提案
環境・都市再生の教育プログラムによる学生参加の街づくりとは

京田辺キャンパスの位置する「けいはんな地域」は、京都・大阪・奈良を核として、民間主導による街づくりをめざしている。その地域の取り組みに本学学生が教育プログラムとして参加し、地域活性化へのデザイン提案を行うのが本プログラムの概要。特徴的なのはけいはんなエリア全体をキャンパスとして捉えている点である。そして正課授業である「プロジェクト科目」では、地域・社会から担当者を公募しており、社会の力を大学に取り入れる実践型の教育プログラムとなっている。また、地域住民とともにフォーラムなどを開催し、地域の声を「プロジェクト科目」に反映して、さらなる教育プログラムの発展を図るという好循環の形成も狙いとしている。

地域GPSスタッフの声

現在、私たちは地域連携をテーマに様々な活動を行っています。

4月にはきょうたんなべ倶楽部と合同で「かぐや姫と竹エスタ」を開催しました。これは三山木商店街の活性化と、新人生や新しく移り住んで来られた方にまちを知って頂くことを目的としたイベントでした。また、京田辺の名産であるお茶を学生にも広めたいと思い、「お茶摘み体験」も実施しました。地元農家の方々と交流できる良い機会になりましたし、学生に地域への関心を持たせることができたと思います。8月には熊本県水川町で行われたまちづくりの手法を学ぶインターンにも参加し、まちづくりへの姿勢など多くのことを学びました。

私は今年の同志社京田辺祭で副実行委員長を務めました。京田辺市の区長や自治会長を訪ねたり、普賢寺地域と打ち合わせを行うなど、地域社会と関わる機会がたくさんありました。祭の準備や「同志社まちづくりプランコンテスト」参加を通して多くのアイデアを吸収することができたと思います。

私たちのプロジェクトは今年度から始まったばかりということもあり、他団体の活動に参加する機会が多いのが現状です。これから経験を積み重ね、地域GPSスタッフ独自のまちづくりプランを大学に提案し、地域連携の取り組みを京田辺市からけいはんな地区へと広げていけたらと思います。



今里 舞さん
学生スタッフ代表
【工学部知識工学科
2年次生】

新島襄の旅した風景

熊本編

最終回

百貫港からの旅立ち 〔同志社を創った「ピルグリム・ボーイズ」〕

文と写真 本井康博（神学部教授）



百貫港灯台（坪井川河口）

百貫港から船出

「熊本バンド」で最初に同志社に来たのは金森通倫である。

「明治九年「1876年」の七月に金森家から追い出された私は、着の身着のまま、紺の単衣二枚、書物はバイブルとパンヤン、懐には旅費が八円、外には荷物も何もない」。

「無論、母も兄も見送ってはくれぬ。只、洋学校の同志が数人、坪井川の船に乗る処まで見送りに来て、そこで船の中で賛美歌を歌い、祈りをして別れた。それからは只、人、川を下り、百貫港に着くと、五、六十トンの小蒸気汽船が待つて居る。それに乗り込み、汽笛二声、有明海に乗り出した」。



熊本洋学校跡地（古城）に立つ熊本第一高等学校

解き放たれた「籠の鳥」

熊本洋学校の生徒中、L・L・シーンスの感化でキリスト教に傾斜した者が花岡山に結集し、35名が「奉教趣意書」に連署した。この「花岡山事件」（1876年1月）が社会問題化したために、洋学校は廃校の憂き目にあった。

生徒たちは棄教を迫られ、金森も「迫害」を受けた。京都市行きは「広い自由の天地」へ



第1回同志社熊本キャンプの一行（花岡山の「奉教之碑」の前で。宇佐美宏氏撮影）

の旅立ちで、「恰も籠の鳥が天空遙かに舞い上がった」感があった。「浪をたてつつ西に向かつて進んだ時の愉快さ」は例えようがなかった。

この時の金森の気持ちは、新島襄なら心底から共鳴できたであろう。江戸の藩邸から「家出」して密出国する前の自分を「籠の鳥」、「袋の鼠」と形容しているからである。

徳富蘇峰、東京から同志社へ

「熊本バンド」の2部は、東京へ出た。徳富蘇峰がそうである。1876年8月、「熊本」を去る二里程の百貫と云ふ港から小蒸氣に乗り、長崎に抵り、長崎から飛脚船に乗って神戸に至った。「熊本から長崎迄の航路は五十里足らずであるが、その船は当時に於てさへも、極めて小さき船にて、船の中に立つことさへも出来ぬ程であった。」

が、蘇峰は10月には東都の学校に失望し、金森先輩を頼って、同志社に転校してくる。

阿蘇から京都へ(一)

その前月は、「熊本バンド」が最多数同志社に繰り込んだ時期である。

まずは、阿蘇町から宮川経輝、下村孝太郎、浮田和民、宮川には当初、同行プランはなかったが、親の許可をとって急ぎよ2人を追いかけた。早朝5時に阿蘇を徒歩で出発。

熊本着は夜の9時である。ジーンズを訪ねてから2里の道を歩いて百貫港に至り、小蒸氣船、加茂丸に乗船。ここで先発隊に合流した。

翌日、3人は長崎で神戸行きの飛脚船、東京丸に乗り換えた。大阪から、開通直後の鉄道で京都に着いたのは、熊本を発ってから5日目であった。

阿蘇から京都へ(二)

続いて、阿蘇からは市原盛宏、井手（竹原）義久、蔵原惟郭が同志社に赴く。市原は郷里を圍繞する所の山脈を以て思想の限界となせり」であつたので「阿蘇の山麓の僻邑」から遊学した洋学校は「別天地」であつた。ならば京都市行きはさしずめ外国留学である。

その後、阿蘇からは蔵原の弟（佐藤）惟や従弟も同志社に入学した（同志社病院院長、佐伯理二郎も阿蘇の出身である）。

なお、市原たちが京都に向かった9月には、他にも岡田松生、内



開館準備が進む「くらはら館」（阿蘇市西町）

田康哉、遠山三良、上原方立、森田久萬人、加藤勇次郎ら8、9名が二団となつて熊本から京都へ転じた。東京（開成学校）からの「ターン組」（山崎為徳、横井時雄、和田正麿）も含めて、同志社の「熊本バンド」は翌年総勢30数名に上つた。

里帰りした「奉教趣意書」(熊本草葉町教会)



ジェーンズ一家、大阪へ

さて、ジェーンズによれば、クリスチャン生徒の大半が、「二つ三つのグループに分かれて」熊本を旅立った後、10月7日にジェーンズ一家も大阪へ向かった。

ジェーンズは、こうも回想する。身の危険を避けるために「四人の子供と母親はいつもピクニックに行くときのように、小川「坪井川」の橋「船場橋」のわきの屋形船に案内された。「河口」の百貫港「までの四マイルは、一気に下った」と。

百貫港では、5年前に「家を長崎から熊本へ運んだノキ丸が彼らを待ち受けていた。船は夜10時、潮が満ちるのを待って出港した。

肥後のメイフラワー

ところでジェーンズは教え子の京都行きをどう見ていたのか。

「この青雲の志を抱いて、^{アムライ}滔滔と日本の古都、京都へ繰り出す若者の群れは私に、炎のように燃える信仰を持って北大西洋を渡り、アメリカ建設の始祖「ビルグリム・ボーイズ」となったメイフラワー号の人々を思い出させた。

さしずめ「ビルグリム・ボーイズ」である。「花岡山事件」から数えて129年目の昨年秋、熊本草葉町教会は「メイフラワー契約」^{メイフラワー契約}に匹敵する「奉教趣意書」(同志社蔵)の複製を作成し、歴史的文書を「里帰り」させた。

同志社をピューリタン化

さて、整備された洋学校に比べると、創立直後の同志社はカオス状態におかれていた。京都にきた「熊本バンド」は、同志社のあまりの低レベルと無秩序さに唖然とした。彼らはただちに改革に着手した。「ビルグリム・ボーイズ」らしく、まずは同志社のピューリタン化である。

金森の証言によれば、「此処に第二の熊本洋学校を造ろうとかかった。その希望は遂げられた。第二の洋学校は出来た。京都の同志社は熊本化していった」。「同志社生徒の気風は、忽ち「変してピューリタンのになった」。

まるで創業者である。



JR熊本駅から望む花岡山(白い仏舎利塔がランドマーク)

百貫港

こうして、彼らは学園の礎石を据えたばかりか、新島死後もその遺志を継いで学園の発展、とりわけ同志社大学設立を実現させた。その意味では、すべては百貫港に始まる。

新島が「博多行きのために」その百貫港に足を運んだのは、「ビルグリム・ボーイズ」出航の4年後である。1880年11月25日九州巡回の折に熊本から人力車を走らせた。が、悪天候のために乗るべき光雲丸が長崎から入港せず、同地の末松支店(不明)に宿泊した。2日待ったがついに船は来ず、新島は27日に馬車で熊本へ引き返し、新二丁目の栗屋に宿泊した。



阿蘇神社(宮川経輝の父はこの神官であった)

水前寺公園（成趣園）



水前寺公園

ところで新島はこれより先（同月4日）、熊本に帰省していた下村孝太郎らの案内で水前寺を見物した。日記にはこう記す。

「此所ハ此県下ノ名勝ナル由ニテ、実ニ幽邃ナル所ナリ。滾々ト湧出ル泉源アリ。其水清キ事、無比ト云ヘキナリ。是ハ本ト、細川公ノ御別邸ノアリシ所ニシテ、余程手ヲ入デ作りタル庭ナリ」。

新島はこの時、「水前寺派」（儒教派）を想起したであろうか。彼らは「花岡山事件」



蔵原惟郭の実家跡地（阿蘇市西町。手前の碑は、蔵原伸二郎の詩碑）

15日、新島は蔵原家を発つて惟郭の兄、惟示をガイドに阿蘇に登った。火口風景をスケッチし、ついで火口原を南北に縦断して阿蘇南の中松へ降りた。ここは「熊本バンド」の赤峰瀬郎の実家に宿泊した。翌日、講演や説教をした後、17日には熊本へ戻った。

同志社熊本キャンプ

以上の熊本との緊密な絆を考慮し、今年9月、初めて「同志社熊本キャンプ」が実現した。徳富記念館ではカタルパの大木が参加者を迎えた。新島が愛弟子、赤峰へ贈ったという縁のある樹木である。

1990年、この3世の苗が京田辺校地の新島記念講堂前に移植された。続いて今年には、岩倉校地に開校した同志社小学校が4世の苗を校庭に植えた。

カタルパの花は、熊本と同志社を結ぶ白いシヤトル便である。

の当日「キリスト教派」への対抗からこの公園に結集し、氣勢をあげた。吉田作哉はそのリーダーである。が、彼は同志社入学後、信徒となった。

阿蘇を縦断

ついで11日、新島は阿蘇へ向かう。「熊本バンド」の実家めぐりである。熊本を発ち、大津の今坂屋に1泊。翌日は的々石村で昼食を摂り、夜にようやく阿蘇谷に着いた。

13日、阿蘇町の市原、宮川、蔵原の実家を歴訪した。蔵原家に3泊し、西町小学校では演説会を開いた。現在、同家の跡地は畑で、隣接する惟郭の従兄弟、惟利の生家が「くらはら館」（資料館）として、来年にも一般公開される手筈になっている。



新島が贈ったとされるカタルパの子孫（徳富記念館。左は2世、右は3世）

来年度就職をめざす皆さんへ

豊かな人生のために 充実した学生生活を

就職を取り巻く状況

2006年4月採用の就職状況は就職率が前年度に比べ0.1ポイント増の98.0%となり、昨年と同様に高い数字となっています。この98.0%という就職率はバブル期の就職率(1989年度99.2%)に迫るものです。これは金融機関を中心とする企業の業績回復、および2007年の団塊世代の大量定年退職への対応による企業側の採用意欲の増加によるものです。学生の就職満足度調査においても文系男子「大いに満足」「満足」94.8%、「やや満足」まで入れると98.6%、文系女子「大いに満足」「満足」92.1%、「やや満足」まで入れると99.5%、工学部「大いに満足」「満足」93.8%、「やや満足」まで入れると99.7%と高い満足度を示しています。

2007年4月採用(現4年次生)においても企業の採用意欲は高く、5月中旬までの学生報告ベースの内定者数は前年同

時期と比べて約20%も増加しています。しかし、9月末現在では前年同時期と比べると5%の微増となっていることから、採用側はいい人材を早く採用したいという、厳選採用の中で高い採用意欲の表れと言えます。従って好調な就職状況とは言え、早々と複数内定を得る学生と、内定をなかなか得ることができず就職活動が長期化する学生の2極化傾向が進んでいます。この傾向は採用側が求める高いニーズと応募する学生とのギャップが生じていることと、応募者が企業名による就職活動を行っていることが大きな要因となっていると言えます。

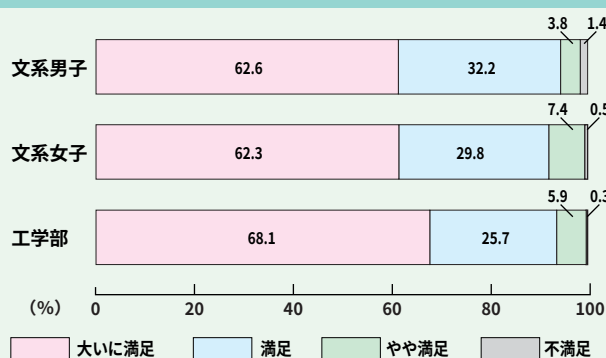
しかし、就職活動が長期化する学生も就職活動を進める過程で、実社会の理解と自分自身の理解が進み、最終的には満足できる就職先を決定しています。

企業の求める人材

グローバルな競争の中、企業はどのような人

材を求めているのか、経済産業省は、企業人事部を対象に、職場が求める社会人基礎力についてアンケート調査を実施しました。この調査は企業が職場で求める能力の明確化を図り、企業の人材ニーズを把握す

就職決定先の満足度



今年度就職活動をした

先輩からのメッセージ

(2006年度 就職に関するアンケートより)

- 経済 男「家電メーカー」就職活動をなめないでください。ここ3年売り手市場といわれていますが、その甘さはなかつたです。とにかく自己分析！自分は何かを表す柱を3つ用意してください。●法 男「繊維メーカー」就職は「縁」だと思っています。自分の努力だけでは決りつかないと思います。●法 女「政治・経済」SPも筆記試験も、勉強すれば誰でも解けます。努力でカバーできるところは落ちないでください。●経済 男「生命保険業界を絞らず幅広く様々な業界の選考に参加してください。セミナーに参加して、社会人の方々と話すと、面接の準備になると思います。●文 女「化学メーカー」学内セミナーはできるだけ参加すべきです。一度に多くの企業の話が聞けるのは効率的です。行かないで後悔するよりも、行って何かでも得て帰りましょう。●商 女「証券・セミナー」行って話を聞いて終わりはなく、たくさん社員と会話してほしい。何かを得るもの、考えるところがあると思う。それをメモ程度でいいので書いておくと、自己分析や志望動機に繋げることができ、後々役立つと思います。●総務 女「出版・セミナー」のときに、勤務地や福利厚生、給与、会社の嫌なところなど聞いたらマイナスかなと思われることも聞くと、そうすると「選考時に優先順位が付きやすくなります。●文・教育 男「精密機器メーカー」面接は、飾らずに本当の自分をそのまま出してください。それでうまくいかないようなら、きこその会社はあなたに合わないと思います。●経済 男「製薬メーカー」わかり易く端的に話してください。●経済 男「地方銀行」面接でうまく答えられなかった質問は、メモをしておいて、帰ってから答えを考えておく、と少しづつよくくなります。●経済 男「業メーカー」OB訪問を積極的に行ってください。理解度、志望動機に深みが出ます。アポイントメントを取るのに苦労しますが、それ以上に得るものは大きいので、是非行ってください。●文 女「総合商社」商社を希望する人は、絶対にOB訪問をしなさい。商社で働いている人から、隣の部署が何をしているか全く分からないからです。それだけ事業内容が複雑で、いじりや目標をどこに明確にして、面接で論理的に話せるようにしてください。●商 男「化学メーカー」内定は「数」ではなく「質」だということを忘れないでください。●院・私法学 男「金融」採用人数が少ない、絶対無理かなと思ってやる気をなくしてしまいがちですが、絶対に採用される人はいます。あきらめずにチャレンジするべきです。●経済 男「銀行」就職活動をしている自分に決意、満足しないこと！私がいつも心にかけていたことです。●経済 男「繊維メーカー」重要なのは、優秀な会社かどうかよりも、自分に向いているかどうかだと思います。●商 男「アパレルメーカー」自分にとって何がMUSTか、何がWANTかから判断した上で、知名度、規模などだけに惑わされずに選択し、欲しいと思います。●商 男「家電メーカー」こんなことがあっても決して譲れないものを自己分析を通じて見つけること、これが私の一番大切にできたことです。●商 男「信用金庫」迷った時はとりあえず、なんでもやってみてください。●機械院 男「機械メーカー」志望動機が書きにくい企業は、セミナーの雰囲気がよくても自分自身も企業に本気ではないと考え、エントリーを見送ることもあ

るためのものです。その結果、企業が求める「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行う」上で必要な基礎的な能力として、「前に踏み出す力」「チームで働く力」「考え抜く力」「コミュニケーション力」の3つの基礎的な能力から構成されると定義付け、その3つの能力を主体性(物事に進んで取り組む力)、働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)、実行力(目的を設定し確実に行動する力)、問題発見力(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)、計画力(創造力・発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)の12の能力要素別に区分しています。

このアンケートに回答をした約9割の企業が、新卒社員の採用プロセスや入社後の人材育成において社会人基礎力を重視し、中でも約8割の企業が、主体性・実行力を求めています。しかし、実際には、自社の若手社員に主体性・課題発見力が不足していると回答した企業も多くあり、企業側が従来に比べ即戦力としてより高いレベルの「社会人基礎力」を求めていることが分かります。

充実した学生生活を

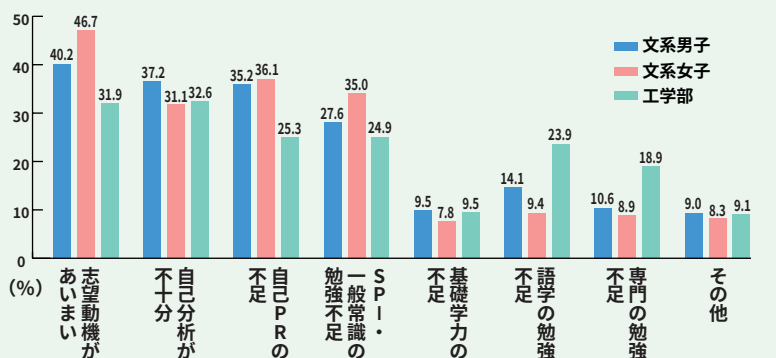
このような社会のなかで、豊かな将来を築くためには、目標を持ち、問題意識を持つチャレンジし、その経験の積み重ねや「ゼミでの勉強」などによる学問の積み上げに

よって充実した学生生活を送り、自身自身を高めることが大切になります。すなわち、学生時代において、よく学びよく遊ぶなかで、「人間力」を蓄えることが重要となります。この「人間力」とは、人を思いやる心、コミュニケーション力、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される、その人の人柄、人間的魅力です。

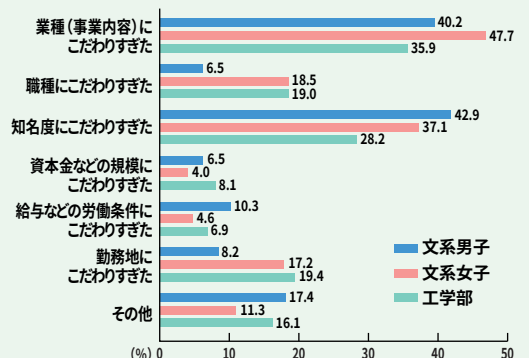
来年度就職をめざす皆さんへ

皆さんが、就職に期待するのは「収入による自立」「社会参加による貢献」「能力を活かした自己実現」だと思います。そのためには、まず、自分自身を知ること(自己理解)が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業企業で発揮できるかを考えてください。そのためには、OB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切となります。そしてある程度、業界・企業研究ができた際には、企業名だけでなく、自分のやりたい職業・働きたい企業を絞り込み、業務内容をよく調べ、「自分はこの会社でどのように働きたいか」を話せるようにしておくことが大切です。採用担当者は、面接などのやりとりから熱意、コミュニケーション能力、問題意識、行動力を見て、「一緒に仕事をしたいか」を判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず発見できるはず。自分を信じて、就職活動にチャレンジしてください。

面接・試験段階での反省点



応募先選択段階での反省点



りました。そういう面があると思います。●商男「地方銀行」就職活動は情報戦です。一つの情報源だけを信じては、複数を総合的に判断するようにしてください。特にネットの掲示板は、マメが多いので、注意が必要です。●文教育「女」国家II種「情報収集は早い段階からして損はありません。どんな仕事ができるのか、二次試験は何の科目が必要なのか、併願先はどうなっているのか、説明会の有無もチェックしておくことが必要です。二次試験はなかなか情報が掴みにくいと思いますが、実際に試験を受けた人の話を聞く機会があれば、情報収集のために積極的に参加することをお勧めします。●経女「非営利団体」私は情報を得るために、多くの時間を費やしてホームページを見て回りました。財団法人や社団法人は、就職サイト上で募集していないことも多くあります。リクナビなどサイトに頼ってばかりいるのではなく、ホームページ上の採用情報を自ら探り出して、果敢に挑戦してみてください。●文英文「女」女「女」一人では限界があります。悩んだら、とりあえず家を出よう。時間のなかと思われ、ゼミ生にも問題解決の力が必要とあるはず。そして友達に自分の考えを話すのが一番の面接の練習になります。人々をいまして！●商男「都市銀行」張り合える仲間を早くから作ってください。就職活動は決して人では乗り越えられない毎日、忙しく、悲しいこともたくさんあります。そんな時に支えてくれる仲間が、かっ！かりと励ましてくれ、さらに自分を奮い立たせてくれるそんな仲間が必須になります。●法法律「男」電力「元氣な時は頑張る、疲れた時は休む、または遊ぶ。このメリハリをしっかりと付けてください。疲れた顔で面接を受けては受かるものも受かraなくります。不安になるかも知れませんが、口は休んだらいつか大きく出遅れるということはありません。大丈夫です。疲れたら迷わず休みましょう。●文社会「女」信用「金庫」地銀や信用金庫を受ける上で大切なのは、その銀行の金庫でないとダメかということです。一京都市で働きたからです。は希望理由になりません。そのために先輩訪問と支店訪問は絶対にするべきです。●法政治「女」電力「インフラ業界は、一般メーカと異なり、選考過程は不透明で、早い時期からリクルーターの方が動いています。リクルーター面談では本気度を見られているので、第1希望ならば企業研究をしっかりと行うことが大切です。●商女「損害保険」私は全国転勤型を希望していましたが、女性の方にお会いしたあつたので、OG訪問は業務職の方をお願いしました。後々考えると、業務職の方のお話を伺うことで、生半可な気持ちで総合職を強めてはいけなかったと気づき、なぜ自分は、体力的にも精神的にもしんどい総合職を志望するのかも深く考えることができました。●文研「女」私立大学職員「大学職員を目指すのであれば、まず自分の大学のことや大学全体が抱えている問題を理解しておく必要があると思います。私は新聞などで大学や教育に関するニュースをチェックするように心がけました。また、大学運営に関する本が図書館にもたくさんあるので、読んでみると大学職員の仕事が変わって来ると感じました。●法研「女」私立学校教員「教員試験を受験するなどの小論文指導など、先生方にも本にお世話になりました。自分の努力も大切ですが、教師職を目指す方のために、大学からサポートしてくださっているのフルに活用してほしいと思います。●商男「商社」まず自分自身を磨くこと、輝いているということが就職活動において、必須の条件だと思います。いかに自分がいかに経験を積んで、それに自信を持って、今現在働いているか、勝負だと思えます。●文教育「男」総合商社「就職活動は、どれだけ自分自身と深く向き合い、その場その場の出会いを大切に、これからの自分の生き方を具体的にイメージした上で、自分の判断や決意に対してだけ納得できるかが勝負です。●法法律「女」航空「自分の気持ちや考えを素直に言うことができた人、ずっと笑顔や絶やさない、パワフルな魅力を持っている人が受かります。私が受からなかった、誰が受かるんだ、という気持ちを持って、自分ができる最高を尽くせば、合格は必ずついてくると信じています。

留学生の眼

「実社会に即した教育」を体感 ～フィンランド・ヘルシンキ大学(2005・8～2006・6)～



大学のすぐ側に立っているヘルシンキ大聖堂

小学生の頃から世の中を良くしたいという思いがあり、大学で教育社会学を学ぶうちに、その原点は教育にあるのではないかと考えるようになりました。ある時、OECD(経済協力開発機構)加盟国の学力調査を目にしたのですが、2000年・2003年の調査ともに総合ランキングでフィンランドがトップでした。以来、フィンランドの教育を研究し、その理由を探りたいと考え、フィンランド留学を強く希望していました。また、ヨーロッパが好きで、歴史ある街で人々と芸術文化に接したいと思ったこともヘルシンキ大学を希望した理由です。

ヘルシンキ大学では教育問題に関する授業を中心に、政治や開発学などの科目も幅広く選択しました。公用語はフィンランド語とスウェーデン語ですが、英語での授業もたくさん開設されています。留学生向けのクラスもありましたが、私は現地の学生対象の授業に積極的に出席するようにしました。ヘルシンキ大学は「求めればその分だけ機会が与えられる」というのが私の印象です。例えば、私は現地の小中学校へフィールドワークに行きたいと考えていたのですが、その時もインタナショナル・コーディネーターという職員の方に現地の学校を紹介して頂きました。実際に訪問した小学校では、先生方へのインタビューや授業見学を通して、フィンランドにおける国の方針や学校のカリキュラムを学ぶことができました。フィンランドの人たちは一見すると恥ず



いつも色々な話をした仲間たち



北極圏への旅行でトナカイそりに乗る

かしがり屋ですが、外国人に対してとても開かれた心で接してくれると感じました。また、先生に推薦され、ヨーロッパ規模の学会にも参加しました。そこでは社会と密接に関係した教育方法が話し合われていました。受験偏重の部分が多い日本の学校とは違い、フィンランドでは小学校から大学までレベルに応じて、メディアリテラシーや多文化共生といった実社会に即したテーマの授業が行われています。社会の中で生きていく人間を育てることを重視した教育だと感じました。私の周りでも自分が将来何をやりたいのか目標をしっかりと持った学生が多く、とても刺激になりました。滞在期間中は学生寮で二人のルームメイトと生活をしていましたが、フィンランドはさすが福祉の充実した国とあって、教育に関する国の補助は大変充実したものでした。消費税が25%で物価も高く、あまり外食な

どはしませんでした。私の場合は寮費が免除され、奨学金も受けていたため大変助かりました。休日には友達と各国料理のパーティーをしたり、学生割引の格安チケットを使って旅行しました。往復4000～5000円程度でエストニアやスウェーデンに行くことができます。その他、ドイツ、フランス特に好きだったスペインには2回行きました。また、北極圏のラップランドでトナカイの引く乗るそりに乗ったことは非常に良い思い出になりました。去年の8月から今年の6月まで10カ月の留学期間を通して、本当に様々な経験をすることができました。卒業論文ではフィンランドと日本の教育の比較をテーマにしようと考えています。将来はグローバルな視野を持ち、教育と社会をつなぐような仕事に携わりたいと思っています。



岩崎 歩美さん

文学部社会学科社会学専攻4年次生

多くの人と関わり、視野を広げたくて

サマープログラム イギリス・ヨーク大学 (2006・8・6～2006・9・6)



ヨーク大学

授業や課外活動など英語を使って生活しているうちにリスニング能力が随分向上したと思います。ホームステイも英語力を高める最適の環境で私の場合はホストマザーが以前に教師をされていた女性だったので特に恵まれていたと思います。最後の1週間はロンドンで過ごしましたが、観光でも研修の成果を発揮できました。



プログラムの参加者たちと

英語は世界の公用語です。話せるようになれば多くの人とコミュニケーションが取れると思い英会話を上達させることが目標でした。これまで英会話学校へ通ったことも海外旅行の経験もありませんでした。約1カ月のサマープログラムは長期留学へのステップにもなると考え、参加を決意しました。

サマープログラムを経験して何より英語に對しての度胸が付きました。帰国後は英語の教材を聞き、現地で養った「耳」を衰えさせないよう努力しています。これからも継続して勉強し、英語力をさらに高めていきたいです。最後にプログラムを通して関わった同級生・先生方・ヨークの人たちにもう一度感謝します。

現地では平日が授業で、週に一度は学外

見学もしました。ヨーク大学の授業でももちろん日本語が禁止されており、内容もレベルも幅広く全体的にバランスが取れていたと思います。10人という少人数クラスの中で、ヨークの歴史上の人物を調べたり、街頭アンケートをして発表するようなフィールドワークも行いました。



岡本 識さん
経済学部2年次生

外国への留学制度

●外国協定大学派遣留学制度＜1年プログラム＞ 2006年度募集校

留学先	AKP加盟校 (アメリカ)	シドニー大学 (オーストラリア)	ソウル女子大学 (韓国)
	カリフォルニア大学 (アメリカ)	ウェリントン・ビクトリア大学 (ニュージーランド)	香港中文大学 (中国)
	ハワイ大学 (アメリカ)	ヨハネス・グーテンベルク大学 (マインツ大学) (ドイツ)	武漢大学 (中国)
	ミドルベリー大学 (アメリカ)	エーバーハルト・カールス大学 (テュービンゲン大学) (ドイツ)	中国人民大学 (中国)
	ワイトマン大学 (アメリカ)	ミュンヘン大学 (ドイツ)	西北大学 (中国)
	スミス大学 (アメリカ)	ハンブルク大学 (ドイツ)	西安電子科技大学 (中国)
	カラマズ大学 (アメリカ)	チューリヒ大学 (スイス)	ディテラ大学 (アルゼンチン)
	スタンフォード大学 (アメリカ)	ポール・セザンヌ大学 (エクス・マルセイユ第III大学) (フランス)	チリ・カリカ大学 (チリ)
	バックネル大学 (アメリカ)	パリ第10大学—ナンテール (フランス)	サラマンカ大学 (スペイン)
	ビクトリア大学 (カナダ)	ミラノ大学 (イタリア)	ラス・アメリカス大学 (メキシコ)
	エディンバラ大学 (イギリス)	ヘルシンキ大学 (フィンランド)	フィリピン大学 (フィリピン)
	ロンドン大学 (SOAS) (イギリス)	ヨーテボリ大学経済商法学部 (スウェーデン)	デラサル大学 (フィリピン)
	シェフィールド大学 (イギリス)	ワルシャワ大学 (ポーランド)	カジャマダ大学 (インドネシア)
	ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	カレル大学 (チェコ)	タマサート大学 (タイ)
	メルボルン大学 (オーストラリア)	延世大学 (韓国)	梨花女子大学 (韓国)
		梨花女子大学 (韓国)	トリブヴァン大学 (ネパール)

＜半年プログラム＞

留学先	カリフォルニア大学 (アメリカ)
	全南大学 (韓国)
	中国海洋大学 (中国)

●夏期海外研修プログラム (サマープログラム) *隔年実施のプログラムも有

留学先	ヨーク大学 (イギリス)	バンクーバー (カナダ)	西北大学 (中国)
	メルボルン (オーストラリア)	ミュンヘン大学 (ドイツ)	サラマンカ大学 (スペイン)
	エジンバラ (イギリス)	フランシュ＝コンテ大学 (フランス)	サンクト・ペテルブルグ商業経済大学 (ロシア)

※その他、セメスター海外英語研修プログラム、国際交流研修プログラム、アーモスト大学への留学制度等もあります。

教育改革ブームに思う

安倍政権が発足して2カ月余り経過した。教育改革を最重点施策の二つに掲げた政権である。これは安倍政権に限らない。世界中でむやみと教育改革が叫ばれる昨今だ。

思えば、1990年代の半ば辺りからこんな具合になっている。いみじくも、イギリスで現首相のトニー・ブレア氏が政権奪取に挑んでいた時、最重要選挙公約として掲げたテーマは三つあり、それはすなわち「一に教育、二に教育、そして三に教育だ」と意気込んでみせた。1996年のことだったと思う。そのブレア節に対して、挑戦を受けて立つ保守党のジョン・メージャー首相(当時)は、「私の三大テーマもブレア氏と同じだ。違うのは三つの間の優先順位だけである。」と冗談を言うて人々を爆笑させていた。

世に教育ほど重要なものはない。言わずもがなのことである。そのことを政治が認識することは結構だ。だが、政治が教育の形を決めたり変えたりするとい

う話になってくると、これは注意を要すると思う。教育制度の設計と運営は確かに重要な政策課題だ。それに異論はない。ただ、制度と中身との関係は実に微妙だ。制度が中身を制約してもいいない。中身が制度を破壊してもいいない。

ギリシャ神話の二つに、「プロクルステイアの寝台」というのがある。プロクルステイスは宿屋の主だ。彼の宿屋は野中の一軒屋。他に選択の余地はない。だから旅人は誰もがこの宿屋に泊まる。ところがこの宿屋には寝台が二つしかない。大も小も老いも若きも、一夜の寄る辺が欲しければ、このオヤジが提供するたった一つのベッドが頼りだ。ベッドは二つで人々の体格は様々だから、当然、背の高いお客さんは頭や足がベッドからはみ出すかもしれない。それをプロクルステイスは許さない。はみ出しは見苦しいというわけで、大ナタを持ち出して突出している頭や足などを切り落としてしまう。お客が小さい人ではみ出しがなければ許されるかとい

えば、これもダメ。余白があるのは気に入らないと言うので、今度は滑車を持ち出されて、お客はベッドとちょうどピッタリサイズになるまで引き延ばされてしまうのである。

この恐怖の「お仕着せワンサイズ」話は12カ国が二つの通貨と二つの金融政策を共有するEU(欧州連合)のユーロ通貨圏の状況に、それこそピッタリあてはまる。ずっとそう考えてきたのだが、どうも同じことが教育についても言えそうだ。

お仕着せワンサイズ教育はいけない。宿屋として看板を上げるなら、客のサイズをベッドに合わせて調整するなど、言語道断である。長身の人も小ぶりな人も伸び伸びゆつたりと、心地よく安眠出来るような環境を整えなければいけない。教育という名の宿屋で一夜をすごせば、誰もがはつらつたる個性と深い知性みなぎる目覚めの時を迎えられる。そんな教育改革をめざしてもらいたいものである。



Hama Noriko

浜 矩子

ビジネス研究科教授

一橋大学経済学部卒業。三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所長。BBC、CNN、NHK、NBC、ブルムバーグTV、ロイター通信等、映像・音声メディアの時事ニュース番組にマクロ経済問題に関するコメンテーターとして出演多。毎日新聞、日経新聞、The Japan Times、仏Les Echos 紙、毎日エコノミスト誌等、内外の新聞・雑誌にコラム執筆、金融審議会、国税審査会、産業構造審議会特殊貿易措置小委員会等委員、経済産業省独立行政法人評価委員会委員、内閣府PFI推進委員会、共同通信社報道と読者委員会、Blekinge Institute of Technology Advisory Boardメンバーなどを歴任。

CAMPUS NEWS

キャンパス ニュース

第1回新司法試験に35名が合格



10月14日(土)今出川校地寒梅館にて、法科大学院司法試験合格者祝賀会が行われた。2006年3月に本学司法研究科を修了し、第1回目となる新司法試験に合格した35名を祝う会で、合格者たちはみな清々しい表情で列席した。教員からの祝辞では、「皆さんには、新司法試験の第1期生という肩書きが付いて回るようになるでしょう。今後の皆さんの活躍次第で、新しい司法制度の位置づけが決まってくるのです」と激励の言葉が贈られた。

本学司法研究科が開設されたのは2004年4月。今回の合格者は、すなわち司法研究科の第1期生であり、新司法試験の第1期生でもある。2006年9月21日に法務省から第1回新司法試験合

第1回新司法試験合格者数 上位大学ランキング

順位	法科大学院名	合格者数
1	中央大学	131
2	東京大学	120
3	慶應義塾大学	104
4	京都大学	87
5	一橋大学	44
6	明治大学	43
7	神戸大学	40
8	同志社大学	35
9	関西学院大学	28
10	立命館大学	27
11	北海道大学	26
12	法政大学	23
13	東北大学	20
14	大阪市立大学	18
	関西大学	18

格者が発表され、本学では全国58校中第8位の35名(88名受験)が合格した。各法科大学院がその存在をかけてしのぎを削る中、初年度全国8位という本学の実績は大健闘といえよう。本学司法研究科ではアメリカ法関連科目を基礎・基幹科目に準ずる選択科目に組み込むなど国際性を強く意識し、刑事系やビジネス法関係の科目も充実、実践的なカリキュラムになっている。さらに「アカデミック・アドバイザー制度」を導入し、夜間に20〜30代の若手弁護士に学習方法や勉強の悩みを相談することができ、合格者の一人である海野花菜さんは、2004年3月に本学法学部を卒業し、4月に司法研究科へ入学。学部卒業後、最短の2年で見事合格を果たした。海野さんは「学部時代は法律以外のさまざまな勉強もしたかったので、特に司法試験の勉強はしていませんでした。それでも将来の夢として弁護士を思い描いていたので、司法研究科を受験を決めました。入学後、司法研究科の



海野花菜さん

授業は非常に密度が濃く、最初はいくだけで精一杯でした。授業では周囲からほとんど発言が飛び出し、先生方の熱意に後押しされて勉強していた感じです。アカデミック・アドバイザーの方にも、答案の書き方や参考書の選び方などを教えて頂きました。年齢が近いこともあって些細なことでもお聞きすることができて良かったです。1期生同士の啓発意識も高く、授業の合間に寒梅館のラウンジで疑問点を話し合い、そのうちに他の人も集まって来てみんなで議論を始めるような雰囲気でした。今後は民事事件や労働問題を扱うような、街の弁護士として市民の近くで活躍したいと考えています」と、将来の夢を笑顔で語ってくれた。

合格者たちは祝賀会の後、模擬法廷で教員と記念撮影を行い、京都ガーデンパレスでの祝賀パーティーに出席した。今年はい修者コース(2年制)のみが対象であり、未修者(3年制)が受験する来年度以降、大学の真価が問われることになる。司法研究科ではさらなる努力を重ね、高度な倫理性と国際性を備えた法曹の輩出をめざしている。

佐野さんは昨年に開催された「同志社大
学ビジネスフランチテスト」でも優勝。今年
2月には「旅のお手伝い楽業^{ラクギョウ}」という会社



前列左から3番目が佐野さん

2月には「旅のお手伝い楽楽」という会社を起業し、既にプランを具体化させている。

会社の業務は、自身を含めた介助者の派遣、基準を満たした宿泊施設の紹介を行い、介助が必要な人の旅行を手助けする。佐野さんは「お客様の行けるところではなく、お客様の行きたいところ」を重視し、「コミュニケーションを密にしながら旅行プランを練っていくという。『以前、両手・両足が不自由な方を清水寺にお連れした時は『まさか清水の舞台に上がれるなんて』と喜んで頂きました」。

自分の仕事を広めることで介助に対する社会全体の意識を変えたいという佐野さん。今後このようなコンテストに積極的に参加したいと話している。

※第3回同志社大学ビジネスフロンコンテスト開催
日程：12月16日(土) 13時

主催：同志社大学、同志社大学リエゾンオフ
イス、同志社ベンチャートレイン

協賛：(株)池田銀行、(株)南都銀行、同志
社校友会大阪支部産官学部会

お問い合わせ先：同志社大学リエンオフィス
TEL：0774-6516223

「こんな商品サービスがあったら良いな」というアイデアをビジネスプランに練り上げ、予選を通過した6チームが競う（応募書類の受付は終了）。

詳細は 本学リサーチオフィスP
<http://iason.doshisha.ac.jp/venture/vb2.html>
 をご覧下さい。

同賞は過去15名もの芥川賞受賞者を輩出し、受賞後も息の長い活躍を見せる作家

本学の卒業生である藤野可織さん(本名
 藤野香さん)／02年文学部文化学科美学及
 芸術学専攻卒業 04年文学研究科美学お
 よび芸術学専攻博士課程(前期課程 修了)
 が、第103回文学界新人賞に輝いた。

生來の説書好きが嵩じ、幼い頃から小説家になりたいという夢を温めていた藤野さんは、大学卒業の頃から創作活動を開始。その後は編集プロダクションや出版社に勤務しながらも、作家の夢をあきらめることなく創作を続けていた。大学院修了時にある新人賞に応募し作品が1次選考に残ったことも、自信を深める一つのきっかけになったという。

今回の文学界新人賞への応募者は、約2000名にのぼった。「発表の約1カ月前に最終選考に残っているというお電話を頂きました。それ以来、常に頭の片隅で選考の行方が気になっていましたので、受賞の報告を



藤野可織さん

藤野可織さん については「現実のとらえ方に正解なんてあるのか、あるとしてもそれは人がそれぞれ作り上げたものではないか、ということを意識して書きました。読者がいろいろな解釈をしてくださればと思います」。

同賞は、過去15名もの芥川賞受賞者を輩出し、受賞後も息の長い活躍を見せる作家が多いことから、今後も期待が寄せられる。「今はあまり将来のことについて思い巡らすことはせず、とにかく次の作品に集中し、受賞作以上のものを書いていきたいです」と笑顔で語ってくれた。

藤野さんの作品は、11月7日発売『文藝春秋』06年12月号に掲載されている。

京田辺校地は1986年に開校し、今年で20年目を迎えた。これを記念して11月4日、同志社ローム記念館で記念式が開催され、150名を超える参加者があった。

式典は大谷實総長による式辞、八田英二学長、森田潤司女子大学長からの挨拶、野本真也理事長の祝詞が行われた他、小石原範和京都府副知事、久村哲京田辺市長、原本敏明関西文化学術研究都市推進機構常務理事から祝辞が述べられた。

久村京田辺市長から、「開校当時の人口約4万5千人が今では6万4千人を超え、1997年の市制施行により京田辺市ととなりました。この飛躍的發展は、同志社大学をはじめ同志社諸学校の開校によってもたらされた。今後とも同志社との交流・連携を二層進めたい」との祝辞をいただいた。

八田学長は、「本学は京都府、京田辺市等の支援により大きく発展してきた。開校



学研都市キャンパス開校式・快風館開館式と良心碑除幕式

11月4日、木津町にある学研都市キャンパス（敷地面積約5万㎡、建物延べ床面積約8500㎡）の開校式および快風館開館式が、関係者約200名の列席を得て執り行われた。

以来、1994年には工学部・大学院工学研究科の全面移転、2005年の文化情報学部設置、2007年の大学院文化情報学部研究科、2008年にはスポーツ健康科学部、生命医科学部の設置など、京田辺校地の充実に務めてきた。同志社大学は完成200年に向けて、教育研究活動に「層の努力をしたい」と挨拶した。

森田女子大学長からは挨拶の中で「京田辺市により安心安全な魅力ある街づくりをお願いしたい」と要望を述べた。

（京田辺校地総務課）

開館に当たり、大谷實総長、野本真也理事長、八田英二学長、河井規子木津町長、片山傳生副学長、藤城進京都府企画環境部長、四方實彦学研都市病院長の7氏が快風館前でイブニングを行い、秋晴れの下、参加者同の拍手をもってセレモニーが始められた。

快風館は4月からの改修工事が終了し、多様な研究プロジェクトに柔軟に対応できるような仕切りのない構造となっている。また、隣接の学研都市病院との間には、相互の敷地を往来できる道路も敷設され、臨床的研究に最適な条件が整った。

これらのセレモニーに続き、校友や教職員をはじめ多くの方から寄せられた浄財によって建立された「良心碑」の除幕が行われた。また、式後には快風館内の施設見学会が行われ、見学者は各種実験のデモンストラーションに見入った。研究のための環境が整い、いよいよ本学のめざす研究体制の深化に期待が寄せられる。

ホームカミングデー2006 「精神に帰る一日」

秋晴れの11月5日（日）「ホームカミングデー2006」が開催された。今出川キャンパスには「同志社」で学び過ごした卒業生、家族、市民ら2300名が参加。終日キャンパスを行き交い、賑わいをみせた。

クラーク記念館前では、「未来に届け私のメッセージ」と称して、保存修理工事のため取り替えられる「土居真板」にメッセージ

を書き込む情景が見られた。

卒業生の協力を得たプログラムの野点音楽の競演、懐かしい写真展、映画上映、ダンス演能「庭上梅」の上演など、同志社の歴史と伝統の重みと深さをみることができた。

他にも、八田学長による講演会、寒梅館での卒業生交流セッション、パネル展示、クラーク記念館改修保存工事現場、新島旧邸等の施設公開、人力車友の会の人力車での構内散策、模擬店など多彩な催しが行われた。最終プログラムの閉会式では、来年の再会を約して、「DOSHISHA COLLEGE SONG」を大合唱し、「精神に帰る一日」を終えた。

（校友課）

大学院アメリカ研究科 ハロウィーンパーティー開催



大学院アメリカ研究科では、毎年恒例のハロウィーンパーティーを10月27日（金）にハワイ寮フレンズピースハウス

にて開催した。これは学生と先生方の交流のために学生が主催する恒例行事のひとつである。

ハロウィーンは11月1日の万聖節（諸聖人の日）の前夜祭であり、その起源は古代ケル

ト人の収穫感謝祭だと考えられている。また、10月31日の夜に死者の霊や魔女が出現すると信じたケルト人は、これらから身を守るために仮面を被り、魔除けの焚き火を絶やさなかったとも伝えられている。これに因みアメリカではカボチャをくり抜き、目や鼻口をつけた提灯「Jack O' Lantern」を飾った。夜にはお化けや魔女など様々な仮装をした子供たちが、「Trick or Treat」と唱えながら近所を回り、お菓子を貰ったりするようになった。

本研究科のハロウィーンパーティーでも、会場を「Jack O' Lantern」や蜘蛛の巣などで装飾し、出席者はそれぞれユニークな仮装（魔女、天使、メイド、コウモリ、新撰組など）でパーティーに参加した。パーティーの演目として、マックス・ピアンやトランプトによるミニコンサート、アニメキャラクター等の似顔絵コンテスト、ハンバーガーの早食い競争などが上演され、先生方も交え参加者全員で楽しんだ。最後に、秋学期から本研究科に着任されたRamon Che Williams助教授の歓迎セレモニーで大いに盛り上がり、古代ケルトから続くハロウィーンを存分に満喫した夜となった。

アメリカ研究科博士課程（後期課程）1年次生
吉村知重紀

京都学生祭典で本学学生が活躍

10月7・8日に行われた第4回京都学生祭典において、大庭彩華さん（政策学部3年次生）、土屋有加さん（文学部社会学科社会



福祉学専攻3年次生が実行委員を務めた。
この祭典は平安神宮やJR京都駅ビルを会場に行われたもので音楽ライブ、おどり、縁日など様々な企画が全て学生の手によって行われている。今年は15万人以上もの観客を動員した。500人を超える実行委員の中で大庭さんは「Kyoto Student Music Award」京都発「全国学生音楽コンテスト」、土屋さんはおどりのコンテストである「京炎」そでふれ！全国おどりコンテストを担当「統括」と呼ばれる各部門

のリーダーに抜擢されそれぞれの企画の進行に尽力した。

祭典を振り返って大庭さんは「北は岩手県から南は沖縄県まで220組ものバンドに出場して頂きました。出場者のリストアップから出演依頼など多くの準備作業がある中で心配事もたくさんありましたが無事終えることができて安心しています。来年はさらに規模を拡大したいです」と笑顔を見せた。土屋さんは「もともとおどりに興味があつたわけではありませんでした。たくさん仲間と共に一つのものを作り上げていく充足感に、だんだんと魅了されていきました」と祭典の魅力を語ってくれた。

2006年度 旧司法試験最終合格者数 上位大学ランキング

順位	大学名	合格者数
1	東京大学	92
2	早稲田大学	85
3	慶應義塾大学	57
4	中央大学	43
	京都大学	43
6	明治大学	18
7	同志社大学	17
8	上智大学	15
9	一橋大学	14
	北海道大学	14

本学教員執筆図書を紹介

(総合情報センター調べ 価格は税別)

卒業生の新刊図書

- 「征戦の時代」
皇民ハチと大元帥陛下の十五年戦争
福屋 嘉平 著 (1953年法学部卒業
驢馬出版 3300円(税込))
- 「わがボス中内功との1万日」
大友達也 著 (1959年法学部卒業
(株)中経出版 14000円(税別))
- 「酔って候 時代小説傑作選」
沢田 瞳子 編 (2003年文学研究科修士
(株)徳間書店 629円(税別))
- 「絵はがき随筆 日本とこうこう」
笠井 昌昭 著 (文学部名誉教授
新風舎 690円(税別))

進化経済学ハンドブック

室田武 他 執筆 共立出版 8000円
高齢社会における信託と遺産承継
占部裕典 他 執筆 日本評論社 6500円

新版 地域福祉事典

井岡勉・上野谷加代子 他 執筆
中央法規 7000円

ファイバー スーパーバイオ

ミメティックズ近未来の新技术創成
藤井透・大窪和也 他 執筆
NTS 63200円

負債拡大の現代会計

加藤盛弘 著 森山書店 3400円

金融不安定性の経済分析

植田宏文 著 晃洋書房 3400円

言語都市・ベルリン

1861-1945
真銅正宏 他 執筆 藤原書店 4200円

写真と日々
清水稜 著 現代思潮新社 2600円

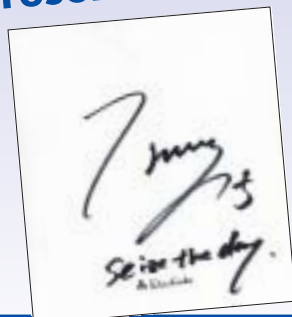
The Price Collection
ザ・プライスコレクション
狩野博幸 他 執筆 小学館 70000円

会社法重要判例解説(第3版)
早川勝 他 執筆 成文堂 3200円

写真と日々

清水稜 著 現代思潮新社 2600円

Present for you



ガンバ大阪 宮本恒靖さん サイン色紙プレゼント

プロサッカー選手宮本恒靖さんは、2001年経済学部のご卒業生です。6月のFIFAワールドカップドイツ大会では、日本代表の主将としても活躍されました。ご希望の方はハガキかE-mailで、住所、氏名、学部(卒業生の方は出身学部と卒業年)、One Purposeの感想をご記入のうえ、2007年1月31日(消印有効)までに広報課にご応募ください(サイン色紙希望と明記のこと)。抽選のうえ、3名の方にプレゼントします。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※広報課の連絡先は裏表紙に記載

※収集した個人情報、色紙送付ならびにアンケート内容の分析のみに使用します。

148号のお詫びと訂正

ワンパース148号の記事に誤りがありました。プロジェクト科目の特集p7「小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究」文中<誤>太鼓方井上敬介さんらの能楽師が講師を務め、<正>太鼓方井上敬介さんが講師を務め、以上、お詫びして訂正します。

染井 徹也さん に聞く

インタビュー
海家 直幸さん
経済学部3年次生



海家 ● 最初、始めに、学生時代はどのように過ごされたのかお聞かせください。

染井 ● 同志社香里中学、高校から大学まで同志社で学びました。私が大学生の頃は、まだ京田辺キャンパスは開校しておらず、京都駅から今出川キャンパスまでバスで通っていました。当時はまだ市電が走っていた頃です。大学では二部ワンダーフォーゲル部に所属していました。普段は御所でトレーニングをしていたのですが、部員同士が肩車に乗って御所を一周したりと、相当きついトレーニングでした。今となれば良い思い出ですね(笑)。合宿では30〜40kgの重い荷物を担いで山道を歩くうえ、テントを張ったり食事を作ったりと、とても体力が要りました。そのおかげで精神的、体力的に大変鍛えられたと思います。

海家 ● 卒業後、今のお仕事に就かれるまでどのように歩んでこられたのですか。

染井 ● 経済学部で金融論を学んでいましたから、必然的に就職活動では銀行などを中心に考えていました。ただ、その中に偶然1社だけ自動車メーカーを見つけたんですね。昔から自動車が好きだったこともあり、採用試験を受けました。結果的にそれが縁となりマツダ(旧・東洋工業)に入社することになりました。以来20年間ほどマツダで国内法人の営業や事務、総務など様々な仕事を経験しました。

海家 ● その後、転職なさっているんですね。

染井 ● はい。生まれ育った奈良へ戻りたいと考え、5年ほど前にマツダを退社しました。今思えばマツダは社員を育てる気風のある

染井 徹也さん

【1982年経済学部卒業】

1959年生まれ、奈良県出身。フォルクスワーゲン東京株式会社代表取締役社長、アウディ東京代表。大学卒業後、マツダ(旧・東洋工業)に入社。約20年の勤務の後、二度の転職を経て2003年より現職。顧客との関係性を重要視し、フォルクスワーゲンを「家庭の中で受け継がれる商品」にするべく尽力されている。



会社でした。これは入社してみなければわからないことですが、会社には社員を育てる気風のある会社とそうでない会社がある。

私がマツダに就職したことは幸運だったと思います。そしてマツダを退社後の約2年間、関西で輸入車販売関係の仕事をしていました。ちょうどその頃、今の仕事のお話を頂戴し、面接を受けて採用されました。

海家 ● 僕ももうすぐ就職活動を始めるのですが、面接を受けるに当たっての心構えを教えてくださいませんか。

染井 ● まず大事なのは、「自分にできることを話す」という姿勢でしょうか。私も今まで学生の面接をしてきましたが、自分を偽っていると相手にも分かってしまいます。

フォルクスワーゲン東京株式会社代表取締役社長、
アウディ東京代表

染井 徹也さん に聞く



やはり仕事をする上でも、誠実さ、素直さが大切です。そして自分の考えをまとめておくことが大変重要です。特に私どもの会社は外資系ですので、全ての事象を論理的かつ明確に話さなければなりません。良ければ良い点について、悪ければ悪い点について、説明責任が要求されるのです。こういった能力は年齢やキャリアにはあまり関係なく、意識的に日々訓練することが大切です。アドバイスと言うと大げさですが、自分はどうな人間であるのか、今まで積み重ねてきた背景も含めて、論理的に説明できることが大切ではないでしょうか。

海家 ● 貴重なご意見をありがとうございます。ところで染井さんは2回転職されているようですが、転職する際に不安や焦りはありませんでしたか。

染井 ● それほどありませんでした。自分の中でしっかり納得できていたからでしょう。実は当社でも、年間7%くらいの社員が離職します。その時にかかる言葉は、せうかく転職するならばキャリアアップをめざしなさい、ということですね。そのためには、自信が持てるだけのキャリアや技術を身に付けておくことが必要です。そうでなければやはり不安に陥ってしまうでしょう。また人間関係も大切。いろいろな方と仕事を進めていくのですから、人間関係をうまく構築できる能力は、会社員ならばどんな分野でも必要とされるでしょう。働いていく中でそれらを掴み、自信を持っていれば、どんな職種でも成果を収めることができるはずです。

海家 ● 現在、扱ってられる外国車の魅力

はどんなところにあるのでしょうか。

染井 ● 長らく自動車関連の仕事に携わってきた経験から言いますと、車を造る時の発想自体が外国者と国産車では全く異なるように思います。国産車の場合は、自動車造りにおけるいろいろなノウハウを結果させ、効率の良い車を造っています。反対に外国車、中でもヨーロッパ車においては、自動車の造りに対するこだわりが大変強く、明確なアイデンティティを持っています。国が違えば道路環境、安全性の基準、運転者の体格なども異なるわけですが、その違いが車にも表れているのです。それぞれの車を持つこだわりは、一度乗っていただければきつと実感していただけることでしょう。ですから二度フォルクスワーゲンに乗られたお客様は、その後も永続的に乗り続けてくださる方が多いのです。

海家 ● では、フォルクスワーゲンのアイデンティティとはどのようなものですか。

染井 ● ご存知の通り、フォルクスワーゲンはドイツで生まれ、愛されてきた国民車です。したがって、ドイツの風土を凝縮させたような車であると言っていると思います。つまり非常に合理的で、余分なものは装備せず、走る・停まる・曲がるといった基本的な操作に忠実で高い性能を持っているということです。私にとっては昔から憧れの車の一つでした。学生の頃にフォルクスワーゲンに乗っていた友人がいたのですが、それは羨ましく感じましたものです(笑)。

海家 ● 僕は車が好きで、自動車部品を扱う店でアルバイトをしていたこともあるので

すが現在は輸入車にとってそれほど追いつく風が吹いている時代ではないと思うのです。それに関しての苦勞などはありますか。

染井 ● 現在、輸入車販売の成長率は年間2〜3%とほぼ横ばいです。しかし、そのような状況においても、当社は毎年成長を遂げています。我々は常にお客様を迎える態勢を整えています。それはフォルクスワーゲンというブランドそのものに限らず、二つのショールームも含めて、お客様をお迎えするための環境を整備しているということです。この世田谷のショールームは、外光をふんだんに取り入れるように昨年改装しましたが、店舗それぞれにアイデンティティを持たせ、付加価値を付けていかなければ、数多くの自動車ブランドがひしめく中で継続的に足を運んで頂くことは難しいでしょう。

海家 ● 染井さんは特に「CS(顧客満足度)」を注視しておられますね。

染井 ● はい、CSは確かに重要な指針です。ただ、全てのお客様に100%喜んで頂くことはなかなか難しいものです。当社ではサービスを受けて頂いた方、ご購入頂いた方に、往復はがきをお送りしています。私は返信の全てに目を通して、お客様の意見をフィードバックしていくよう努めています。お客様との信頼関係を築き、ショールームの整備や従業員の対応などを通じて、CSはかなり高いレベルに達することができると考えています。

ます。

海家 ● 団塊と呼ばれる世代の方々が退職される時期を間もなく迎えます。そういった世代へ向けた販売戦略をお考えですか。

染井 ● 近年、当社のショールームに来場頂くお客様の平均年齢は徐々に上がっています。



い方の認知度も高めていきたいと思っています。これからの日本は少子化時代です。そのような中で、例えば小さなお子様にフォルクスワーゲンのミニカーで遊んで頂ければ喜ばしいことです。次世代へ向けても積極的にアピールしなければ生き残れないでしょう。商品というものは常に進化していきます。私たちには、各世代に応じた販売方法を模索する責任があるのです。

海家 ● よく分かりました。最後に、同志社大学に対してどのような印象をお持ちでしょうか。卒業して改めて感じられることはありますか。

染井 ● 中学から大学まで、自由な校風の中で本当にのびのびと過ごさせてもらいました。一貫教育というのは、ここ数年で急速に一般化してきたようですが、私は素晴らしいことだと考えています。小学校入学時から中学校を卒業する15歳くらいまでが、人間形成において最も大きく影響を及ぼす時期ではないでしょうか。その時期に、一貫した教育精神に支えられて学ぶことができるのは、大変有意義なことだと思います。今年小学校が開校したと聞きましたが、その意味ではとても喜ばしいことですね。

海家 ● 本日はどうもありがとうございました。

INTERVIEWER



かいや
海家 直幸さん

経済学部3年次生

同志社ローマ記念館プロジェクト同志社広告機構の代表として、公共広告の研究を行う傍ら、NPO法人「KGC」では異業種研究会のプロデュースも企画。所属する経済学部の八田ゼミでは、自動車業界をテーマにした産業研究も行っている。

ロジック(論理)は世界共通。その大切さに気づきました。

フォルクスワーゲンはドイツの自動車メーカーということもあり、どちらかと言えば質実剛健で堅いイメージがありましたが、自然光に包まれた広いショールームやスタッフの方の温かい対応に感激しました。

今回のインタビューでは、ご自身の経歴に裏打ちされた就職活動や転職のお話が特に印象に残っています。また「ロジック(論理)はグローバルスタンダード」とおっしゃっていたように、自分の考えを明確に相手に伝えることが大切だと学びました。今後、ゼミでの研究発表や就職活動に活かすことができればと思います。

このシリーズは、毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたか取材しています。級友の方々にとっては良き近況報告、学生諸君には将来のキャリア・プランと学生生活の現実を考える機会になれば幸いです。

新しい企画を考案し、 ドラゴンクエストを超える ヒット作を創造したい



学生時代はバンド活動に打ち込んでいましたが音楽は仕事にしたいと思っていました。ビジネス上での様々なしがらみによって、音楽を嫌いになってしまっているのではないかと考えたからです。就職活動を始めるに当たって優先したのは、何を作り、売っているのが明確であること。玩具メーカー

取り、初めて手がけることになるゲーム作りのきっかけを手に入れることができました。この仕事は他人の真似をしていたら絶対にヒット作を生み出すことはできません。既存商品の続編ではなくオリジナル作品を生み出していきたいと常に考えています。これまで4本のオリジ

や食品メーカーなど、扱っている商品がイメージしやすい会社を選んで採用試験を受けました。また、制作や流通の中心地である東京で仕事したいと考え、現在の会社に入社しました。

ゲームプロデューサーは企画を立て、それに携わる人材を見

つけ出し、予算を組んでプロジェクトを動かしていくという、人と企画とお金を取りまとめる仕事です。一般的には制作現場で長い期間みっちりと修業を積んだ後、初めて就くことのできる職種です。ところが私はゲームプロデューサー職での入社という、非常に稀な採用形態でした。何

の経験も知識も持たないままプロデューサーとして仕事を始めることになったのです。何から手を付けていいのか見当がつかない私を救ってくれたのは先輩プロデューサーの一言でした。「早く良い仲間に出会うことが大切だよ」。私はかねがね一緒に仕事をしたいと思っていた人たちに連絡を

ナルゲームを手がけてきましたが、それぞれに私の個性を発揮することができたと感じています。ただ、自分の感性だけが一人歩きしたのではユーザーに面白いと感じてもらえませんか。また、ゲームソフトのような娯楽商品は生活必需品ではありません。それをお客様に高額で買ってもらいたくありません。ですから、それにふさわしい価値ある作品を作り出していきたいです。

ゲームプロデューサーは様々な年代、職業の人たちと関わる仕事です。ゲームとは全く違う業界の方に仕事を依頼することもあります。ゲームの世界に閉じこもることなく、多方面に関心を持つことが大切です。私の場合は、高校時代から始めた音楽がゲームの企画を生み出すヒントにもなりました。この仕事に興味がある人はゲーム以外にも映画、演劇、本、スポーツなどに触れ、豊かな感受性を養ってほしいです。

安藤 武博さん

【1998年経済学部卒業】
株式会社スクウェア・エニックス
ゲームプロデューサー

身の回りに出現する爆弾を解体していく『鈴木爆発』、音楽と映像の融合が話題となった『ヘビーメタルサンダー』など、社内でも異色分野のゲームを手がける。「就職する時は、体面ばかりでなく自分のやりたいことをきちんと見つけることが大事。そのために時間をかけて考えてみるのも良いでしょう。また、学生時代を過ごした京都について、「学生が多くて自由な雰囲気が良いですね。他大学の学生に多く出会えることも魅力」と語る。



P R O F I L E

生活者の視点で、時代のニーズに 合った広告プランを提案する



が個性的なところに魅力を感じました。会社は知名度や規模よりも、社風が自分に合うかどうかが大切ではないでしょうか。そういった意味では、最初から電通とフリーリンクが合っていたように思います。

初めに配属されたのはPR部で、さまざまな分野の企業広報活動のお手伝いをする仕事です。たとえば新商品に対してターゲットや発売時期、その時の社会的背景などを意識しながらプランを考案し、クライアントに提案します。そして新商品発表会の企画・運営や、テレビ局や出版社へのプロモートなど、商品が発売されるまで企画に携わっていくのです。

仕事は忙しくて大変ですが、それを辛いと思ったことはありません。

10歳の時に父の仕事の関係で渡米し、帰国後、同志社国際高校に入学しました。人と接すること

が好きで、学生時代は接客業のアルバイトをしていました。卒業後も多くの人と出合い、コミュニケーションを図る仕事がしたいと考え、今の会社を選びました。就職活動の際にOB・OG訪問をし、電通社員にたくさん会いましたが、話しているだけで惹き付けられてしまうくらい皆さん

プレゼンテーションの日が近づくとプレッシャーから焦りも出てきますが、本を読んだり社内と同僚

たちに意見を求めたりしてヒントを得ます。この仕事は、デスクの上で考えていても立ち行かないことが多くあります。最近オープンした施設に行ってみたり、百貨店へ足を運んだりしながら、生活者の気持ちを感じ取ることが大切です。

この仕事の醍醐味は、そうやって苦労しながら

P R O F I L E

水野 和佳さん

【1999年文学部英文学科卒業】
株式会社 電通 関西支社



仕事で行き詰まった時は、「気分転換に紙とペンだけを持ってカフェに行き、2時間くらい考えていると良いアイデアがひらめいたりします」という。また、「女性社員が比較的少ない会社ですので、女性の発想を重視してもらえます。この仕事の魅力は、業種を問わずいろいろな人と出会えることですね」と話す。その笑顔からは、つくづく仕事を楽しんでおられる様子がうかがえる。

手がけた商品が、社会でブームになっていくのを目の当たりにできることです。交差点で信号待ちをしている時などのふとした瞬間に、周りの人が私の携わった仕事について話しているのを聞くと、本当にやりがいを感じます。現在は営業部に異動になり、PRをはじめ、CMやラジオ、雑誌といった社内の各担当を束ねる立場になりました。以前より幅広い知識が必要とされます。

先日、あるボランティア活動に参加するため、会社を休んで広島へ行きました。忙しくて1日しか休みが取れませんでした。が、学生時代ならもっと時間が取れたのではと痛感しました。学生時代は人生で一番時間を自由に使える時期だと思っています。いろいろなことに好奇心を持ち、日常生活の中にある些細なことに興味を持って、突き詰めて考える力を養ってほしいです。

C E M E N T

【場 所】今出川校地 寒梅館ハーディーホール

【料 金】無料

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel. 075-251-3270

12月7日(木)

映画上映&講演 ※外国文化週間(P.26)をご参照ください。

12月14日(木)

「情報の正しい選び方～人権を侵害しないために」

【時 間】14:30開場／15:00～16:30

【講 演】辛坊治郎氏(読売テレビ解説委員)



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールで、映画史に残る名作の数々を特集上映します。

【場 所】今出川校地 寒梅館クローバーホール

【料 金】無料

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel. 075-251-3270

≪ルキーノ・ヴィスコンティ監督特集≫(DVD/VHS上映)

12月 5日(火) 16:45～『夏の嵐』

19:00～『家族の肖像』

12月12日(火) 16:45～『地獄に堕ちた勇者ども』

12月19日(火) 16:45～『イノセント』

19:00～シネマトーク

講師:伊東恵司(今出川校地学生支援課)

観に行こう聴きに行こう-学生団体12～3月の活動予定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 Tel.075-251-3270

●今出川校地-寒梅館ハーディーホール・クローバーホール

12月 2日(土) 雅楽会「第13回定期公演」 17:30～

12月16日(土) ゴスペルクワイア Joyful Joyful「クリスマスコンサート」
18:00～

12月23日(土) 応援団「アトムフェスティバル2006」 17:30～

12月24日(日) 混声合唱団こまき「第37回定期演奏会」 17:00～

●明徳館

12月 1日(金) 学生保健部会「献血」 10:15～

●新町別館小ホール

12月 1日(金)～ 3日(日) 同志社小劇場「GODZILLA」

12月 8日(金)～10日(日) 同志社小劇場「ハムレット」

12月15日(金)～17日(日) 演劇集団Q「アカイツキ」

12月22日(金)～24日(日) 第三劇場「(未定)」

※いずれも1日目18:00～、2日目14:00～・18:00～、
3日目14:00～

●京田辺校地-ハローホール

12月 2日(土) OneVoices「アカペラライブ」 時間未定

12月 7日(木) 喜劇研究会「引退寄席」 13:30～

12月16日(土) とんがりぼうし「1回生コンサート」 12:30～

1月13日(土) PENTA「ライブ」 時間未定

3月15日(木) F.S.S.「さよならコンサート」 12:30～

●学外

12月 2日(土) 学生混声合唱団C.C.D.「第54回定期演奏会」
ルミエールホール(京阪「古川橋駅」南へ5分)

12月 9日(土) グリークラブ「第102回定期演奏会」

京都コンサートホール

(地下鉄「北山」駅①番出口南へ)

12月 9日(土) 応援団吹奏楽部「第37回定期演奏会」

八幡市文化センター

(京阪「八幡市」駅より無料送迎バス有)

12月23、24日(土、日) 書道部「同志社、同志社女子連盟展」

建仁寺西来院(大和大路通松原上ル東)

12月24日(日) コールフリーゲル「40周年定期演奏会」

枚方市民会館(京阪「枚方市」駅より徒歩15分)

第17回同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

【日 時】12月9日(土) 16:00開場 16:30開始

【場 所】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)

【お問い合わせ先】キリスト教文化センター

Tel. 0774-65-7370

同志社クリスマスキャンドルライトサービス

【日 時】12月22日(金) 17:30開場 18:00開式

【場 所】今出川校地 同志社栄光館(女子大学・女子中高構内)

【主 催】

同志社クリスマスキャンドルライトサービス実行委員会

【後 援】

同志社中学・高校・女子中高・国際中高・香里中高 宗教部

同志社大学キリスト教文化センター・同志社女子大学 宗教部

【お問い合わせ先】女子大学宗教部 Tel. 075-251-4141

第42回全同志社メサイア演奏会

【指揮者】金 洪才

【合 唱】同志社メサイアコアー メサイアシンガーズ
同志社グリークラブ

【オーケストラ】同志社交響楽団

【日 時】2006年12月24日(日) 開演18:00 開場17:00
(当日16:30より座席券交換)

【場 所】京都コンサートホール大ホール

【料 金】S席2,000円 A席1,000円 (全席当日指定)

【主 催】全同志社メサイア演奏会実行委員会

【お問い合わせ先】全同志社メサイア実行委員会
090-6679-9720

※本公演チケットを10組20名様にプレゼント!

詳細は12月12日(火)までにお問い合わせください。

【招待券に関するお問い合わせ先】

今出川校地学生支援課 Tel.075-251-3270

第33回外国文化週間

テーマ：「地中海 — 都市と文化の地層」

【日 程】12月1日(金)～9日(土)
【場 所】今出川校地、京田辺校地
【入場料】無料
【お問い合わせ先】言語文化教育研究センター
Tel. 0774-65-7070

12月1日(金)

●映画

13:15～ 今出川校地 寒梅館ハーディーホール
『モンドヴィーノ』ジョナサン・ノスター監督(2004/仏=米/136分)

●講演

15:45～ 今出川校地 寒梅館ハーディーホール
『ワインと食の相性』(後援:株式会社ワイングロッサリー)
【講 師】田崎 真也 氏(ソムリエ)

12月4日(月)

●対談

13:15～ 京田辺校地 恵道館 KD302 教室
『フィレンツェと京都—歴史都市の過去・現在・未来—』
【講 師】宗田 好史 氏(京都府立大学教授)
清瀬 みさを 氏(同志社大学助教授)

12月5日(火)

●映画

12:30～ 京田辺校地 多目的ホール
『月曜日に乾杯!』オタール・イオセリアーニ監督
(2002/仏=伊/127分)
(フィルム提供=ビターズ・エンド、協力:エース・ジャパン)

●講演

15:00～ 京田辺校地 多目的ホール
『未だ知られざるファシズム期のイタリア映画
— 娯楽映画群「白い電話」と植民地リビア』
【講 師】石田 美紀 氏

●映画

16:40～ 京田辺校地 多目的ホール
『ラジオのリクエスト』アブドゥルラティフ・アブドゥルハミド監督
(2003/シリア/91分)(フィルム提供=エース・ジャパン)

12月7日(木)

●講演

13:15～ 今出川校地 寒梅館ハーディーホール
『古代ギリシアを生きた人びと—神話と文学の世界から』
(共催:今出川校地学生支援課)
【講 師】中務 哲郎 氏(京都大学教授)

●映画

15:00～ 今出川校地 寒梅館ハーディーホール
『アテネ／アクロポリスへの三度の帰還』
テオ・アンゲロプロス監督(1982/伊/44分)
(フィルム提供=エース・ジャパン、共催:今出川校地学生支援課)
『文化都市リスボン』
マノエル・デ・オリヴェイラ監督(1983/伊/61分)
(フィルム提供=エース・ジャパン、共催:今出川校地学生支援課)

12月9日(土)

●コンサート

13:30開場 14:00開演 京田辺校地 多目的ホール
『オペラ・ガラ・コンサート ～ Mozartの調べ ～』
【出 演】ソプラノ 青野 浩美 北川 侑依 高橋 響子
洲崎 亜矢 田中 美央 大石 友美
バリトン 井原 秀人(同志社女子大学助教授)
ピアノ 藤江 圭子(武庫川女子大学音楽学部)

障がい学生支援スタッフ大募集

障がい学生の自律支援と学生同士の支え合いをめざし、年間を通じてスタッフを募集しています。学内・学外を問わず、関心のある方はぜひご登録ください。

【お問い合わせ先】

今出川校地学生支援課 Tel. 075-251-3270

京田辺校地学生支援課 Tel. 0774-65-7410

《アシスタントスタッフ(有償)募集》

募集一時給870円

聴覚障がい学生の講義保障…ノートテイク(筆記通訳)、パソコン通訳、
手話通訳、ビデオ字幕付け

視覚障がい学生の講義保障…テキストファイル文字校正

《ボランティアスタッフ(無償)募集》

視覚障がい学生への支援…ガイドヘルプ、対面朗読、代筆、代読など
肢体不自由学生への支援…車椅子介助、代筆など

ランチタイムのお気軽手話勉強会

毎週火曜日と金曜日のランチタイム(12:30～13:00)に京田辺校地学生支援課(嗣業館1階)で、毎週月曜日と水曜日のランチタイムには今出川校地寒梅館1階BOX-Dで、お弁当を食べながら楽しく手話を学んでいます。飛び入り参加も大歓迎ですので、気軽にのぞいてください。

ふらっと b プログラム

【場 所】京田辺校地—ハローホール(多目的ホール)前

【料 金】無料

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課Tel. 0774-65-7410

12月13日(水) 12:30～

パントマイム上演&ワークショップ やまさわたけみつ

3日連続映画特集!

12月18日(月)・19日(火)・20日(水) 12:30～

※詳細は未定です。詳しくは学内看板などをご覧ください。



WOT (ワット) =What's on Thursdays!

“What's on Thursdays!”=「木曜日には何かがある!」を言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。



第58回日米学生会議の実行委員を務める

～活動を通して将来が見えてきた～

2年次の終わりに京田辺キャンパスで日米学生会議メンバー募集の掲示を見つけてきました。「在学中に何か大きなことをやってみたい」というのが挑戦した一番のきっかけです。また、以前シリアへ行った際に、現地の方が、親目的なのに対して反米感情は強いと感じ、もうとアメリカという国について知りたいという思いを持っていました。

日米学生会議は、日米関係の悪化を懸念した日本の学生が、大人の力を借りずに自分たちで友好を図ろうと、1934年にスタートしたものです。すべてが学生の手で運営されるのが特徴で、約1ヵ月にわたって開催されます。いくつかの分科会に分かれて議論を行い、最終の報告会で発表を行うというのが大きな流れです。

僕は3年次の時に初めて参加したのですが、一からものごとを作り上げることに魅力を感じ、次年度の実行委員に立候補しました。実行委員としての僕の担当は広報と財務で、どうやって応募者やスポンサーを募るかを考える仕事です。メンバーは日本全国にいたので頻りに集まるのですが、実行委員全体のモチベーションが下がりがちなこともあり、その時「とりあえず動いてみるのが大事」と、全員に呼びかけて「晩中語り合ったこと」もあります。それ以来、実行委員の間に連帯感が生まれたように感じています。

今年の会議は7月下旬からアメリカで開催され、ニューヨーク、ワシントンD.C.、オク

ラホマ、サンフランシスコなどを回りました。

各分科会活動や企業訪問、フォーラムの開催などはもちろん、国連の日本代表部を訪問したり、ホワイトハウスやNASAなどの国家機関を見学に行くこともできました。

この1年間、実行委員の仕事を通じて多くの人と出会い、客観的に自分を見る力を養うことができました。メンバーと話し合う中で、自分には無いものを得られたし、相手に無いものを与えることができたと思います。卒業後は総合重機メーカーに就職します。ゼミで開発経済を勉強していた途上国援助に関心を持っています。また、日米学生会議で財務担当を務めた経験から、お金を扱う部門の重要性も感じています。その両方に携わる仕事がしたいと考え、それが実現できそうな会社を選びました。将来の目標は、ビジネス的な視点を持ちつつ、貧困地域などの社会問題を解決していくことです。ずっと何をやりたいか模索していたのですが、日米学生会議の運営を通して、将来めざすべき方向を見出すことができました。



山田裕一朗さん
【経済学部4年次生】